

医師の働き方改革に対応した 魅力ある厚生連病院づくり

第24回厚生連医療経営を考える研究会のご案内

日時

令和 5 年 **2** 月 **10** 日(金) 13 時 00 分開会

開催形式

オンライン開催(Zoom)

スケジュール

開催:日本文化厚生農業協同組合連合会

基調講演

(事前オンデマンド配信)

「ポストコロナ・超高齢社会における 地域づくりを担う厚生連・公的病院の展開」

松田 晋哉 産業医科大学 公衆衛生学 教授



実践報告 ・ パネルディスカッション 13:00~16:30予定

実践報告 1

佐野厚生連 佐野厚生総合病院 村上 円人 病院長



実践報告2

新潟県厚生連 上越総合病院 篭島 充 病院長



問題提起

東京医科歯科大学名誉教授文化連特任指導職 高瀬 浩造 先生



実践報告 3

三重県厚生連 三重北医療センター いなべ総合病院

相田 直隆 病院長



問題提起「医師の働き方改革に伴う大学病院、地域医療への影響

~医療スタッフ、住民にとって魅力ある病院とは~」

パネルディスカッション

パネラー: 村上先生、篭島先生、相田先生 コーディネーター: 高瀬先生

お問い合わせ: 文化連 企画広報課 03-3370-2541まで

基調講演「ポストコロナ・超高齢社会における地域づくりを担う厚生連・公的病院の展開」_{仮題} 産業医科大学 公衆衛生学教授 松田 晋哉 先生 おデマンド配信

コロナ禍で明らかになった日本の医療介護提供体制の課題、さらに地域医療構想が想定する2025年まで残り3年となるなかで、ポスト地域医療構想の作成論議もスタートしようとしています。こうした情勢変化を見極めながら、患者・住民にとって安心できる医療介護サービス提供体制を作るには、急性期病院の受け皿として、地域を安定させるために医療と介護の複合体が必須とし、平時から地域の連携体制をしっかり評価することが重要と述べます。コロナ禍であらためて見えてきた公的病院の役割と期待、超高齢社会に対応する医療介護の連携した地域づくりについてご提言をいただきます。

実践報告 佐野厚生総合病院 院長 村上円人 先生 上越総合病院 院長 篭島充 先生

三重北医療センターいなべ総合病院 院長 相田直隆 先生

実践報告では、佐野厚生連 佐野厚生総合病院 村上円人院長より、地域の中核病院として、ケアミックス型病院から急性期病院へ転換した院長の決断力や、魅力ある教育環境を整備し着実に 医師を増やすなど病院変革の取り組みをご報告いただく予定です。

新潟県厚生連 上越総合病院 篭島充院長からは、多職種にわたる医療スタッフの教育や研修に力を注ぎ、研修医だけでなく指導医講習会を定期開催するなど人材育成・確保の取り組み、持続可能な医療体制を築くために地域住民との関わり方などをご報告いただく予定です。

三重県厚生連 三重北医療センターいなべ総合病院 相田直隆院長からは、異なる二次医療圏にある2つの病院を存続したままセンター化した事例として地域の実情を踏まえた連携戦略や、脊椎センターを開設し得意分野を活かした病院づくりなど、地域医療の維持向上や医師確保の方策をご報告いただく予定です。

問題提起「医師の働き方改革に伴う大学病院、地域医療への影響」 東京医科歯科大学 名誉教授 高瀬 浩造 先生(文化連特任指導職)

医師の働き方改革に伴う大学病院側の受け止め方や、地域医療や病院経営への影響について解説いただき、人材確保・育成、病院機能分化・再編など最近の医療政策への対応をめぐって問題提起をいただく予定です。

また研究会当日のパネルディスカッションの座長も務めていただきます。

お申込み/参加費 (1 施設あたり)

会員厚生連・病院 12,000円(税込) 非会員 14,000円(税込)

文化連 文化連ホームページからも お申込みいただけます

お申込み・振込方法等の詳細は、開催案内文書もしくは文化連ホームページをご覧ください。

日本文化厚生連 経営研事務局 宛

FAX:03-3378-8767

厚生連・施設名			
ご参加者	部署・役職:	氏名:	
	メールアドレス:		
TEL			